

ふれあい No. 42

CONTENTS

- P 2 2024 年度 糖尿病週間の行事を開催しました
- P 3 『コスモス会ウォーク 2024』を開催しました
- P 4 医療安全対策特別講演会を実施しました
- P 5 『品質保証施設認証施設』に承認されました - 臨床検査科 -
RI 装置を更新しました
- P 6 水島千鶴子トーク&グランドハープライブ演奏会 2024 の開催
- P 7、8 外来診療のご案内

病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター

〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
ホームページ <https://minamata-hp.jp/>

QRコードからアクセスできます



2024 年度 糖尿病週間の行事を開催しました

11月14日は、世界糖尿病デーであり、インスリンを発見したフレデリック・バンティング博士の誕生日です。今年度は、11月11日（月）から17日（日）が全国糖尿病週間であり、「みんなで正しく理解しよう『ダイアベティス』」をスローガンに、全国各地で一般の方向けの講演会や健康相談などの広報活動が実施されました。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。これは、糖尿病に関する国連決議がなされた翌年の2007年から使われているシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしています。

当院では糖尿病週間の催しとして、11月1日（金）に中庭に設置したブルーサークルの点灯式、1階ロビーに糖尿病に関するポスターを掲示してスタートしました。11日（月）、12日（火）、14日（木）の3日間は、1階ロビーに血糖測定や糖尿病に関連した相談コーナーを設けました。医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師、理学療法士が、血糖値や食事、運動など、お一人おひとりの心配事についてお話を聞かせていただきました。13日（水）には代謝内科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師による特別講演会を開催しました。参加された方からは、「糖尿病や治療について知識が増えた」「食事など生活に役立てていきたい」などご意見をいただきました。

今後も糖尿病週間行事を開催し、地域の糖尿病をもつ方が安心して自分らしく生活するためのサポートを行っていきます。



スタッフ集合写真



相談コーナーの様子



ポスター掲示



特別講演会の様子



<豆知識> ダイアベティスとは？

ダイアベティスは、2023年9月22日に日本糖尿病学会と日本糖尿病協会が糖尿病の新しい呼称として提案した言葉です。なぜ、ダイアベティスと名称変更を提案したのでしょうか？それは、糖尿病の名前の由来を知っておく必要があります。

今から100年以上も前に、尿から糖が出ていることが分かっており、『密尿症』、『甘血』、『糖血病』など様々な名前で呼ばれていましたが、1907年の内科学会講演会が契機となって『糖尿病』に統一され、現在に至ります。しかしながら、現在の医学において『糖尿病』という名称は病態を正しく反映していない、『尿』と排泄物の名前が入るとネガティブなイメージにつながるなどの様々な理由が挙げられます。

そのような糖尿病に対するスティグマ（否定的なイメージをレッテル貼りし、社会から分断して不利益や差別を被らせること）を払拭するためのアドボカシー活動の一環で、名称変更の議論が2022年頃から始まり、様々な名称の候補がありましたが、世界共通語の『ダイアベティス』への名称変更の提案につながりました。今後、どのような名称になるか注目です。

『コスモス会ウォーク 2024』を開催しました

2024年11月23日（土）、コロナ流行後中断しておりました『コスモス会ウォーク』を、5年ぶりに開催しました。

当初は、2024年4月に開催する予定で準備していましたが、雨天延期となってしまう、その後満を持して秋に開催できました。

当日は少し肌寒かったのですが、時間とともに気温が上がり、ぽかぽか気持ちの良い秋晴れとなりました。参加者は糖尿病をもつ方とご家族12名であり、医療スタッフと一緒に、エコパーク水俣の外周約3キロのコースを歩きました。体調を確認するため血糖値と血圧を測定し、準備運動を行ってからスタートしました。当院の医療スタッフが考えた糖尿病に関するクイズを解きながら休憩をとり、ゴールを目指しました。

ウォーク中には、日頃の運動に関する話など、診察室ではなかなか出来ない話ができ、参加者と医療スタッフとの距離が縮まったように感じました。ゴール後も血糖測定を行い、歩くことで血糖値がどう変動するかを観察しましたが、途中で低血糖になる方もあり、歩くことが血糖値を下げることを参加者とともに実感しました。クイズの正解数上位3名には表彰と記念品を贈呈しました。

参加者から、「気持ち良かった」「楽しかった」「また参加したい」などご意見をいただきました。来年も開催を予定しています。

<コスモス会とは>

糖尿病をもつ方が糖尿病への理解を深め、糖尿病と上手に付き合っていくための患者会で、糖尿病をもつ方や医療スタッフが入会しています。
ご希望の方は、当院栄養科にご連絡ください。



ウォーキングの様子



クイズ出題中の様子



集合写真

医療安全対策特別講演会を実施しました

毎年11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間は医療安全推進週間です（令和6年度は11月24日～11月30日）。

当センターでは、医療安全推進週間に先立ち、2024年11月14日（木）「医療におけるコミュニケーションを考える」をテーマに熊本大学病院 医療の質・安全管理部 近本亮教授を講師にお招きし、医療安全対策特別講演会を開催しました。

当日は、講演会及び当センターでの取組や事例検討を行い、近本教授の講演では、日常における患者と医療者、そして医療従事者間でのコミュニケーションの重要性やそのポイント、考え方などについて具体的に示唆に富んだお話をいただきました。今回の講演会は職種の限定なく実施し、医師、看護師のほか、コメディカルや事務職員など多職種が参加、聴講しました。

聴講した職員からは、「チーム医療の重要性を実感した」「心理的安全性などについて理解が深まった」「『逃げない・隠さない・ごまかさない』ことが大切だと感じた」「医療従事者同士の情報共有や患者様との丁寧な意思疎通が、現場での医療安全を守る上で不可欠であると再認識した」など、様々な感想が寄せられました。今後も、医療センター全体での医療安全の取組とさらなる改善を推進していきます。



特別講演会の様子

「品質保証施設認証施設」に承認されました - 臨床検査科 -

「品質保証施設認証」は、検査データが標準化に基づいたものであり、かつその精度が十分保証されていると評価できる施設に対して日本臨床衛生検査技師会、公益社団法人日本臨床検査標準化協議会（JCCLS）が共同で審査し承認されます。（認証期間は2年間）

このたび、「臨床化学、血液、一般、免疫、微生物、輸血、細胞、生理、病理」の9部門で認証されました。

今回、認証取得を目指したことによって、各種業務マニュアルの最適化・各種精度管理の強化などに取り組み、臨床検査科全体の検査精度の更なる向上につながりました。

これからも受診される患者様が安心・信頼できる臨床検査を提供できるように努力していきたいと考えております。



RI 装置を更新しました

2024年10月から、新RI装置「Symbia Evo Excel」が稼働を始めました。15年ぶりの更新ということもあり、検出器の効率が向上し、検出角度も対向だけでなく、平面や90°での配置も可能になりました。これまで多くの施設から検査紹介を頂き、ありがとうございます。

新装置の性能を生かし、検査の幅や質をさらに向上できるよう、放射線科一丸となって精進していきますので、有用の際は当院に紹介頂きますようお願いいたします。

【当院で行っている検査（一部）】

- ・骨シンチグラフィ：骨転移の有無
- ・脳血流シンチ：脳の虚血状態を早期に検出。アルツハイマー病などの認知症の診断など
- ・ダットキャン：パーキンソン症候群、レビー小体型認知症の診断など
- ・心筋交感神経シンチ：心臓周囲の神経の状態の評価。集積具合により心不全や心筋症、パーキンソン症候群、（MIBG）レビー小体型認知症の診断など
- ・心筋血流シンチ：心筋血流や機能の評価。狭心症や心筋梗塞の診断など
- ・腎レノグラム：腎への血流やろ過能力などの腎機能の状態を評価
- ・ガリウムシンチ：不明熱の熱源精査（注射して72時間後に撮影を行います）

その他検査に関しましても、お問い合わせください。



水島千鶴子トーク&グランドハープライブ演奏会 2024 の開催

2024 年 11 月 8 日(金)に国保水俣市立総合医療センターにおいて、ハープ奏者でミュージックセラピスト（音楽療法士）でもある水島千鶴子さんの演奏会が、昨年に引き続き開催されました。今年は病棟演奏会・市民公開トーク&グランドハープライブ演奏会が行われ、多数の方に参加頂きました。

美しいハープの音色と癒しの力で多くの人々を魅了し、患者・地域住民・職員に対し心の癒しを届けることができました。今回のミュージックセラピーにより、「心が癒された」とのコメントを患者さんや市民の皆様方から頂きました。

ストーリー

「ハープの音色」と「歌声」が美しく融合

入院病棟に響き渡るハープの優しい音色に誘われるように、懐かしい日本の歌「赤とんぼ」、「紅葉」、「夕焼け小焼け」、「ふるさと」が、患者様とスタッフの心を一つに結びました。

季節を映す歌声が重なり合い、それぞれの思い出とともに、病棟は温かな空気に包まれていきました。まるで秋の夕暮れのような柔らかな光が差し込むように、患者様の頬は穏やかな表情で彩られました。この癒しのひときは、日々の療養生活に寄り添う音楽の贈り物となりました。

病棟での happy birthday 合唱

西 3 病棟では、この日、86 歳の誕生日を迎えられた女性患者様がいらっしゃいました。演奏会が始まり、静かにハープの音色が響き渡る中、千鶴子さんは、患者様の誕生日であることを知ると、演奏の合間に、突然「ハッピーバースデーソング」を奏で始めました。患者様は、突然のプレゼントに驚き、そして、温かいメロディーに包まれ、涙を浮かべて喜んでいらっしゃいました。

「思いもよらぬお祝いをいただき、ありがとう」
そう呟く患者様の言葉には、感謝の気持ちと、ハープの音色に心を解きほぐされた安堵感が溢れていました。

千鶴子さんのハープの音色は、患者様の心に直接届き、温かい光を灯したように感じられました。その瞬間、病棟全体が、愛と温かさで満たされ、そこにいる誰もが、優しい気持ちに包まれたのでした。

かわいい子供たちと坂本管理者・阿部院長のコラボ演奏！

今年度は初めて市民を招待した全体演奏会を行いました。トーンチャイムの打楽器を使い子供たちと坂本管理者・阿部院長が共演されました。また有志達の演奏などハープの音色と一味違うハーモニーが響き渡りました。そして会場全体を包み込むような歌声とのハープのコラボレーションは、まさに圧巻でした。千鶴子さんと皆様の奏でる音色は、心を癒し、希望を与えてくれる力強いメッセージだと感じました。医療センターではハープの音色に包まれ、素敵な時間を過ごすことができました。



【アイリッシュハープ】弦楽器の一種でアイルランド生まれのハープ



国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

令和 7 年 2 月現在

午前診療 8:30 - 12:00 (受付 8:00 - 11:00)
午後診療 14:00 - 17:00 (受付 13:30 - 15:00)

初めて受診される方へ 受付は 11 時までとなります

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正	田代 康正	内藤 大貴	中嶋 誠也	田代 康正
			中嶋 誠也	内藤 大貴	非常勤医師	内藤 大貴	中嶋 誠也
	午後	検査	気管支内視鏡	—	気管支内視鏡	—	—
脳神経外科	午前	診察	潟山 高士	手術	工藤 真励奈	工藤 真励奈 潟山 高士	もの忘れ水頭症外来 工藤真励奈 潟山 高士
			担当医		担当医	脳ドック (担当医)	担当医
脳神経内科	午前	診察	詹 翔叡	(特殊外来・再来) 井 建一郎	池袋 雄太	詹 翔叡	池袋 雄太
			(新患) 池袋 雄太	植田 明彦 (完全予約制) (10:00 ~ 14:00)	(新患) 詹 翔叡	(新患) 池袋 雄太	(新患) 詹 翔叡
MEG センター	午前	特殊検査 (脳磁計)	(予約) 中村 政明				
消化器内科	午前	診察	市川・古庄	(第1、3週) 市川 向坂	小森田・東	市川・小森田	向坂・古庄
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡 検査	向坂・小森田	(第2、4、5週) 市川 小森田・古庄	向坂・古庄	向坂・古庄 吉成 (熊大)	市川・小森田 担当医
		腹部超音波検査	—	—	市川	—	—
	午後	検査	小森田・古庄	小森田・古庄	小森田・古庄	小森田・古庄	市川・向坂 小森田・古庄
循環器内科	午前	診察	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹	上村 智明	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹
			中西 信博	中西 信博	非常勤医師	非常勤医師	上村 智明
心臓血管 外科	午後	診察 (予約のみ)	—	(ペースメーカー外来) 担当医	—	—	廣瀬 豊樹
			—	—	—	—	(第2週) 非常勤医師
糖尿病・内分 泌センター 代謝内科	午前	診察	古川 昇 (新患)	古川 昇	古川 昇	古川 昇	古川 昇
			矢野 雄久	矢野 雄久	矢野 雄久 (新患)	矢野 雄久	矢野 雄久
			吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	吉積 臨太郎 (新患)
	午後	診察 (予約のみ)	矢野 雄久	古川 昇	古川 昇	古川 昇	古川 昇
			吉積 臨太郎	矢野 雄久	(第1、3、5週) 矢野	矢野 雄久	矢野 雄久
小児科	午前	診察	黒澤 孝一	水元 仁美	河合 麻友	水元 仁美	黒澤 孝一
			非常勤医師	園田 ユカ (熊大)	非常勤医師	園田 ユカ (熊大)	河合 麻友
	午後	診察 (予約のみ)	(喘息外来) 担当医	(予防接種) 担当医	(喘息外来) 担当医	(1ヶ月検診) 担当医	(第1週) 発達外来 (第3週) アレルギー外来

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
外科	午前	診察	志垣 博信	坂本不出夫 (9:00~)	坂本 不出夫	長井 洋平	阿部 道雄
			堀之内 誠	志垣 博信	阿部 道雄	—	—
			長井 洋平	—	—	—	—
		オンライン診療	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平
		乳腺・内分泌	—	—	非常勤医師	—	—
整形外科	午前	診察	宮崎 信	中西 浩一朗	中西 浩一朗	宮崎 信	宮崎 信
			沼田 亨祐	沼田 亨祐	棚平 健	棚平 健	沼田 亨祐
			棚平 健	相馬 史朗	三浦 溪	相馬 史朗	三浦 溪
リハビリ テーション科	午前	診察	—	—	馬場 敦子 (毎月第1・3水曜日)	松瀬 博夫	—
皮膚科	午前	診察	谷川 広紀	谷川 広紀	(再来) 谷川 広紀	谷川 広紀	山下 淳二
			山下 淳二	山下 淳二	(再来) 山下 淳二	山下 淳二	山下 淳二
	午後	診察	—	—	手術	—	手術
泌尿器科	午前	診察	(新患) 三浦 太郎	(第1・3・5週) 東 俊之介 (第2・4週) 愛甲 泉	(新患) 愛甲 泉	(第1、3、5週)(新患) (11:00~14:30) 岩下 仁	(新患) 東 俊之介
			(再来) 東 俊之介	(再来) 三浦 太郎	(再来) 東 俊之介	(再来) 三浦 太郎	(再来) 愛甲 泉
	午後	診察	担当医予約・特殊検査、手術				
腎臓内科	午前	診察	—	—	—	(第2週) 深水 (第4週) 井上 (第1、3、5週) 板井	—
産婦人科	午前	診察	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	手術
			(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	
			(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	—
眼科	午後	診察	—	—	—	(再来) 宮村 伸一	(再来) 宮村 伸一
	午前	診察	非常勤医師	特殊再来	非常勤医師	特殊再来	非常勤医師
耳鼻咽喉科	午後	診察	非常勤医師 (13:30~ 15:00)	—	—	—	—
	午前	診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師
放射線科	午後	診察(外来紹介 患者のみ)	楠 真一郎 近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠
	午前	診察	—	—	—	—	—
歯科口腔 外科	午前	診察(初診受付 は午前のみ)	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直	—	尾木 秀直
			劉 隣	劉 隣	劉 隣		劉 隣
	午後	診察 (再診及び入院 患者の初診のみ ※急患を除く)	尾木 秀直	—	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直
			劉 隣		劉 隣	劉 隣	劉 隣